

空手道部顧問の先生方

日頃より大変お世話になっております。
全日本空手道連盟より全空連会員登録の所属団体の確認並びに競技団体への登録変更について連絡がありました。

現在、全空連会員登録の所属を都道府県連盟で会員登録をしている生徒、顧問は、競技団体である「高体連」に登録を変更するように連絡がありました。
この連絡は都道府県連盟にも届いている通知なので、都道府県連盟との関わりについては問題ないと思います。

下に付けてあります全空連からの文書をお読み頂き登録変更の手続きをお願い致します。

全日本空手道連盟からの文書

[至急・重要]

競技団体会員登録と全空連会員登録の合一について

謹啓、

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当連盟の事業活動にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先に都道府県連盟会員登録と全空連会員登録の取り扱い方法の変更につき通達した(2/3付、全空連第531号)ところですが、標記につきましても下記のとおり取り扱い頂きたいようお願い申し上げます。

内外社会情勢が大きく変化する中で、法の求める「公益目的事業」(認定法第二条)の一層の拡充と競技団体活動の活性・健全化の一策としてご協力を強くお願いするものです。

記

1. 競技団体会員登録と全空連会員登録の合一

(1) 競技団体の会員登録時(注:実業団と中空蓮は個人登録のみ)

① 都道府県高体連登録と全空連会員登録を同時実施

② その際、所属団体欄の入力をそれぞれの競技団体とする

(この入力をしないと住所地の都道府県所属となる)→次頁参照

(2) 新規加入者(新入生など)→新年度から

既往会員(在校生など) →更新を徹底

2. 実施時期

2023年度の会員登録より

3. その他

- (1) 各大会実施要綱の参加資格要件として「(公財)全日本空手道連盟の会員であること」の記載を徹底願います(1/13 付事務連絡済)
- (2) 各競技団体の年次収支決算書を毎年提出願います

[ご参考]

- (1) 「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」(認定法)では「公益の推進及び活力ある社会の実現に資する」ために「公益目的事業」を定義し、多数のものの利益の増進に寄与するよう、認可団体にその指針を示しています。
- (2) 各種大会の開催時に、全空連登録の有無を手作業で確認する手間が大幅に削減されます。

(3) 全空連会員数の変化

(単位:人)

	2018	2020	2022.12	[推定会員]
実業団	1,141	833	659	1,200
学連	2,361	1,406	604	2,800
高体連	1,810	857	354	8,000
中空連	502	171	11	2,000
競技団体計	5,816	3,267	1,628	
全空連 計	89,181	75,048	67,337	

- (注) ①2019(H31)システム変更によりスマホなどによる個人登録制度へ移行。
⇨この影響が大きく数字に現れていると思われる
- ② [推定会員]は聞き取り調査と一部推計に依った
 - ③ 競技団体により会員登録の仕組みがまちまちで、画一的運用には難しい面もある

スマホによる会員登録画面について

会員登録画面を押して、
所属の競技団体を選べます。



マイページ→メニュー（左上）→会員情報変更→

所属変更のかたはこちら（一番下）→現在の所属を高体連に変更

（下から2番目）

パソコンによる会員登録画面について

https://jkfmember.jkf.jp/jkfmobile/SP03/SP030001.aspx#

メニュー

マイページ

会員情報

メニュー

- 会員情報変更
- 有効期限更新
- パスワード変更

所属変更

所属変更をされる場合は、変更先の団体へご連絡ください。

会員登録団体 **必須** :

高体連

会員登録団体 必須 :

- 熊本
- 大分
- 宮崎
- 鹿児島
- 沖縄
- 全実連
- 全学連
- 高体連
- 中空連